

令和5年度授業改善推進プランの評価

○成果

- ・指導教諭授業参観や校内研修(実技研修・OJT だより)を生かした授業を実践したことで、ICT 機器や学習カードを効果的に使いながら学び合い、運動することのよさを実感し、意欲的に運動に取り組む児童の姿が増えた。
- ・休み時間に遊べる場所や使える用具を増やしたり、放課後遊びにおいて児童と教員が共に遊んだりしたことで、外で意欲的に体を動かす児童が増えた。

●課題

- ・系統性のある指導と評価が課題である。学年ごとの到達目標を学年内で確認し、学校全体で系統性のある指導を行う必要がある。
- ・体力の二極化が見られ、運動が好きではない児童へのさらなるアプローチは必要である。
- ・体力テストのデータから持久力・瞬発力・スピード・筋力(力強さ)について課題が見られるので、体力向上の働きかけが必要である。
- ・体力テストの結果を受けて、1学級1実践の取り組みを考え、実践していく必要がある。

実態

○令和6年度体力テストデータより

全学年共通して、全国平均を超えている種目は少ない。特に「50m」と「立ち幅跳び」の記録が低位にある。上学年では「長座体前屈」の記録が低く、下学年では、「握力」「長座体前屈」の記録が低い。また、「シャトルラン」については、6年生と1年生が全国平均を超えていた。高学年を中心とした持久走の取り組みの成果が出ていると考えられる。

○積極的に ICT 機器を活用して効果的に体育学習を展開している学年が増えており、動画を撮影して動きを確認したり、友達と気付きを共有したりするなどして学びの充実を感じてきている。

○早寝早起き朝ごはん月間の結果から、睡眠時間の確保を意識して生活する児童が増えてきている。一方、学年問わず、就寝時刻が遅く睡眠時間が短い傾向の児童も一定数見受けられる。

指導上の課題

- ① 運動に対する意欲が高い児童と低い児童の二極化を解消する。
- ② 学び合いを活性化させ、児童の資質・能力を高める。
- ③ 運動の日常化と健康を意識した生活習慣の構築を図り、児童の運動能力や体力を向上させる。

令和6年度の具体的授業改善

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に学習に対する見通しをもたせることができるように、単元の始めにオリエンテーションを行い、学習の進め方や約束などを確認する。</li> <li>・実態に合わせて学習カードを活用し、めあての意識をもたせたり、身振りや手ぶりを交えて振り返りをさせたりすることで、本時の成果と次時の課題を明確にし、児童の学習意欲の継続を図る。</li> <li>・身に付けさせたい動き、運動感覚を具体的・系統的に示し、スモールステップで発達段階に応じて指導する。各領域の運動技能の要点をまとめた資料を整理し、指導力向上を図る。</li> <li>・小集団で互いに考えたことを伝え合いながら運動することで、運動の楽しさや友達と一緒に運動するよさに気付いたり、学習に対する意欲が高まったりすることに気付かせ、学びが深まっていくことを実感させる。</li> <li>・学び合いを促進するための学習資料を充実させたり、ICT機器を活用したりして児童が主体的に学び合える授業づくりを行う。</li> <li>・なわとび、持久走など継続して取り組むことができる運動を授業や体育朝会、体育的活動で紹介、実践させる。また、休み時間や放課後に実施できる運動を体育朝会で紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に学習に対する見通しをもたせることができるように、単元の始めにオリエンテーションを行い、学習の進め方や約束などを確認する。</li> <li>・学習カードを活用し、めあての意識をもたせたり、振り返りをさせたりすることで、本時の成果と次時の課題を明確にし、児童の学習意欲の継続を図る。</li> <li>・身に付けさせたい動き、運動感覚を具体的・系統的に示し、スモールステップで発達段階に応じて指導する。各領域の運動技能の要点をまとめた資料を整理し、指導力向上を図る。</li> <li>・小集団で互いに考えたことを伝え合いながら運動したり、ICTを活用したりすることで、個人の練習だけでは分からなかった点に気付いたり、学習に対する意欲が高まったりすることに気付かせ、学びが深まっていくことを実感させる。</li> <li>・学び合いを促進するための学習資料を充実させたり、ICT機器を活用したりして児童が主体的に学び合える授業づくりを行う。</li> <li>・なわとび、持久走など継続して取り組むことができる運動を授業や体育朝会、体育的活動で紹介、実践させる。また、休み時間や放課後に実施できる運動を体育朝会で紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に学習に対する見通しをもたせることができるように、単元の始めにオリエンテーションを行い、学習の進め方や約束などを確認する。</li> <li>・学習カードを活用し、自分やチームの能力に合っためあてをもたせたり、振り返りをさせたりすることで、本時の成果と次時の課題を明確にし、児童の学習意欲の継続を図る。</li> <li>・身に付けさせたい動き、運動感覚を具体的・系統的に示し、スモールステップで発達段階に応じて指導する。各領域の運動技能の要点をまとめた資料を整理し、指導力向上を図る。</li> <li>・小集団で互いに考えたことを伝え合いながら運動したり、ICTを活用したりすることで、個人の練習だけでは分からなかった点に気付いたり、学習に対する意欲が高まったりすることに気付かせ、学びが深まっていくことを実感させる。</li> <li>・学び合いを促進するための学習資料を充実させたり、ICT機器を活用したりして児童が主体的に学び合える授業づくりを行う。</li> <li>・なわとび、持久走など継続して取り組むことができる運動を授業や体育朝会、体育的活動で紹介、実践させる。また、休み時間や放課後に実施できる運動を体育朝会で紹介する。</li> <li>・大田区駅伝大会を活用した取り組みを高学年児童全員で行う。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年間2回早寝早起き朝ごはんカードを配布し、保護者と共通理解を図り、食育・健康教育推進を啓発する。</li> <li>• 体力テストの結果を個人カルテにまとめ、実施の前後に見直させることで、児童に具体的な目標を持たせ、体力向上の取り組みへの関心意欲を引き出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年間2回早寝早起き朝ごはんカードを配布し、保護者と共通理解を図り、食育・健康教育推進を啓発する。</li> <li>• 普段の生活を振り返り、健康な生活や体の発育等について課題を見付け、その解決を目指した活動を行う。</li> <li>• 体力テストの結果を個人カルテにまとめ、実施の前後に見直させることで、児童に具体的な目標を持たせ、体力向上の取り組みへの関心意欲を引き出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年間2回早寝早起き朝ごはんカードを配布し、保護者と共通理解を図り、食育・健康教育推進を啓発する。</li> <li>• 普段の生活を振り返り、体験学習を通して、心の健康やけがの防止等について課題を見付け、その解決を目指した活動を行う。</li> <li>• 体力テストの結果を個人カルテにまとめ、実施の前後に見直させることで、児童に具体的な目標を持たせ、体力向上の取り組みへの関心意欲を引き出す。</li> </ul>
---	---	--